

【年度末労働災害防止月間】

社長が朝礼で話しをしたように、あと2ヶ月で21年度も終わりになります。現在行っている仕事も年度内工期であり、年度内完成に向けて鋭意努力しているものと思われませんが、工程管理を行い無事故無災害で完了するように努めて頂きたい。建設業は年度末の事故等が多いことから、3月1日から31日までの1ヶ月間、建設業年度末労働災害防止強調月間になっています。年度末で公共工事の完工時期を迎えているため、工事が輻輳し、作業間の連絡調整の不足、作業指揮の不徹底などにより安全管理が不十分になりがちと思われますので、不安全行動による災害防止の徹底をはかって下さるようお願い致します。

危険予知活動で決めた対策の確実な実施

安全帯等保護具の使用

「近道・省略行為」の禁止

送り出し教育、新規入場者教育等の安全衛生教育の実施

作業員の健康状態の把握と心身両面にわたる健康づくりの実施

「危険予知運動」「ヒヤリハット運動」「ひと声かけあい運動」「グーパー運動」等の積極的な実施



【雪道などでの安全運転】

冬道は、路面が雪や氷に覆われ、「滑りやすい」「見えにくい」「わだちができる」「道路が狭くなる」などの危険な状況が生じ、スリップ事故や視界不良による事故が多発します！下記のことに注意して安全運転をお願いします。

発進時はゆっくりと

急発進・急加速はスリップの原因となります。

セカンドギアでの発進や、AT車ならブレーキから足を離す「クリープ現象」を活用しましょう。

スピードは控えめに

スタットレスタイヤなどでも、雪道ではスピードが出るとブレーキを踏んでも簡単には止まりません。

路面状況に応じて何が起きてても対処できる安全な速度を保ちましょう。

車間距離は十分に

滑りやすい路面では制動距離が長くなることから、車間距離を十分にとりましょう。また前の車との距離が近いと追突しやすくなるだけでなく、路面状況の把握がしづらくなります。

急ブレーキは禁物

急激なブレーキ操作はタイヤがロックしやすく、一度ロックするとスピンしたり、ハンドル操作が不能になります。

エンジンプレーキを併用し、慎重な運転を心掛けましょう。

坂道では

上り坂の途中で一旦止まってしまうと、スリップしてなかなか発進することができなくなる可能性があります。

車間距離を十分にとり、余裕を持って登りきるようにしましょう。

